



## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔IFRS〕（連結）

2024年11月1日

上場会社名 ヒロセ電機株式会社 上場取引所 東  
コード番号 6806 <https://www.hirose.com/corporate/ja/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石井 和徳  
問合せ先責任者 (役職名) ファイナンス部長 (氏名) 原 慶司 TEL 045-620-7410  
半期報告書提出予定日 2024年11月14日 配当支払開始予定日 2024年12月2日  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		中間利益		親会社の所有者に帰属する中間利益		中間包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	94,519	14.0	22,216	29.2	23,846	21.2	17,531	39.2	17,531	39.2	13,214	△48.4
2024年3月期中間期	82,910	△12.5	17,191	△36.7	19,680	△32.7	12,597	△39.0	12,597	△39.0	25,585	△9.9

	基本的1株当たり 中間利益	希薄化後1株当たり 中間利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	518.17	518.17
2024年3月期中間期	365.87	365.83

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	414,715	370,119	370,119	89.2
2024年3月期	403,450	364,173	364,173	90.3

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	220.00	—	220.00	440.00
2025年3月期	—	245.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	245.00	490.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	182,000	10.0	38,000	11.7	41,000	5.8	30,000	13.3	886.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期中間期	35,693,969株	2024年3月期	36,250,438株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	1,858,459株	2024年3月期	2,419,652株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年3月期中間期	33,832,913株	2024年3月期中間期	34,430,998株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

当社は、2024年11月6日（水）に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会をオンラインで開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、当日当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 要約中間連結財政状態計算書 .....	4
(2) 要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書 .....	6
(3) 要約中間連結持分変動計算書 .....	8
(4) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(セグメント情報) .....	9
(重要な後発事象) .....	10

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、好調なインバウンド需要や価格転嫁の進展などを背景に、サービス業の景況感は改善しました。また、賃金の伸びの拡大に伴い個人消費も回復傾向にあります。一方、製造業は外需に持ち直しの機運が見られ、景況感は底打ちから回復へ向かう状況となっております。

海外におきましては、米国では所得環境が底堅く、個人消費が堅調でしたが、設備投資の不振により製造業の業況は悪化し、欧州では主力であるドイツ経済が低調で回復の重しとなり、中国も依然不動産市場など内需が低迷しており、景気の先行きは予断を許さない状況になってきております。

このような状況下当社グループは、主にスマートフォン市場向け、自動車市場向け及び産業用機器市場向けのグローバル事業拡大を進めると共に高度化する市場ニーズへの更なる迅速な対応を目指し、高付加価値新製品の開発・販売・生産体制の強化を推進して参りました。この3月に東北アドバンス・テクノロジーセンター(岩手県盛岡市)、6月に新郡山工場(福島県郡山市)が竣工し稼働しています。

業績は産業用機器市場向けビジネスが本格回復しておりませんが、民生用機器市場向け、自動車用機器市場向けビジネスが堅調に推移したため、当中間連結会計期間の売上収益は945億19百万円(前年同期比14.0%増)、営業利益は222億16百万円(同29.2%増)、親会社の所有者に帰属する中間利益は175億31百万円(同39.2%増)となりました。

また、報告セグメントごとの業績を示しますと、次の通りであります。

#### [多極コネクタ]

当社の主力製品群であります多極コネクタは、丸形コネクタ、角形コネクタ、リボンケーブル用コネクタ、プリント基板用コネクタ、FPC(フレキシブル基板)用コネクタ、ナイロンコネクタ等多品種にわたります。

主としてスマートフォン、タブレットPC、通信機器、カーエレクトロニクス等の分野から計測・制御機器、FA機器及び医療機器などの産業用機器等の分野まで幅広く使用されているコネクタであり、今後の更なる高度情報通信ネットワーク化社会及び環境を考慮した省エネ化社会の進展とともに需要の拡大が見込まれております。

当中間連結会計期間は、売上収益は855億85百万円(前年同期比15.3%増)、営業利益は206億86百万円(同35.7%増)となりました。

#### [同軸コネクタ]

同軸コネクタは、マイクロ波のような高周波信号を接続する特殊な高性能コネクタであり、主にスマートフォンやパソコンなどの無線LANやBluetooth通信のアンテナ接続や自動車でのGPSアンテナ接続として、また無線通信装置や電子計測器の高周波信号接続として使用されるコネクタであります。なお、光コネクタ、同軸スイッチもこの中に含んでおります。

当中間連結会計期間は、売上収益は63億25百万円(前年同期比8.6%増)、営業利益は14億11百万円(同8.3%減)となりました。

#### [その他]

以上のコネクタ製品以外の製品として、マイクロスイッチ類及びコネクタ用治工具類を一括しております。

当中間連結会計期間は、売上収益は26億9百万円(前年同期比8.1%減)、営業利益は1億19百万円(同71.2%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末の資産合計は、その他の金融資産や有形固定資産の増加などにより前連結会計年度末に比べ112億65百万円増加して、4,147億15百万円となりました。負債合計は未払法人所得税やその他の流動負債の増加などにより53億19百万円増加して445億96百万円となりました。また、資本合計は中間利益の計上などにより59億45百万円増加して3,701億19百万円となりました。この結果、親会社所有者帰属持分比率は89.2%となり、前連結会計年度末と比べて1.1%減少しました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績につきましては、期初からの為替動向と民生用機器ビジネスが前回予想を上回る見込みの為、2024年5月7日に公表した通期の連結業績予想を修正致します。

(2025年3月期 通期業績予想の修正)

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
前回予想(A) (2024年5月7日発表)	百万円 176,000	百万円 36,000	百万円 39,000	百万円 28,000	円 銭 827.65
<b>今回予想(B)</b>	<b>182,000</b>	<b>38,000</b>	<b>41,000</b>	<b>30,000</b>	<b>886.68</b>
増減額(B-A)	6,000	2,000	2,000	2,000	—
増減率(%)	3.4%	5.6%	5.1%	7.1%	—
(参考) 前期実績 (2024年3月期)	165,509	34,017	38,761	26,480	772.38

為替レートにつきましては通期のレートをそれぞれ、1米ドル=147.00円、1ユーロ=162.00円、1韓国ウォン=0.1100円の前提としています。

また、配当予想につきましては変更はありません。

## 2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約中間連結財政状態計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	90,341	85,665
営業債権及びその他の債権	39,418	44,362
棚卸資産	24,359	23,632
その他の金融資産	73,066	73,491
その他の流動資産	7,276	6,747
流動資産合計	234,460	233,897
非流動資産		
有形固定資産	80,949	86,064
使用権資産	5,633	5,370
無形資産	5,141	5,855
その他の金融資産	69,133	75,514
繰延税金資産	2,409	2,276
退職給付に係る資産	4,499	4,286
その他の非流動資産	1,226	1,453
非流動資産合計	168,990	180,818
資産合計	403,450	414,715

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	11,729	11,666
リース負債	1,107	1,136
その他の金融負債	25	44
未払法人所得税	2,497	5,604
その他の流動負債	5,840	7,977
流動負債合計	21,198	26,427
非流動負債		
リース負債	4,819	4,513
その他の金融負債	105	-
退職給付に係る負債	310	299
繰延税金負債	12,113	12,574
その他の非流動負債	732	783
非流動負債合計	18,079	18,169
負債合計	39,277	44,596
資本		
資本金	9,404	9,404
資本剰余金	11,183	11,157
利益剰余金	340,806	342,751
自己株式	△35,807	△27,463
その他の資本の構成要素	38,587	34,270
親会社の所有者に帰属する持分合計	364,173	370,119
資本合計	364,173	370,119
負債及び資本合計	403,450	414,715

(2) 要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書  
(要約中間連結損益計算書)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上収益	82,910	94,519
売上原価	46,097	51,731
売上総利益	36,813	42,788
販売費及び一般管理費	19,165	20,555
その他の収益	199	303
その他の費用	656	320
営業利益	17,191	22,216
金融収益	2,547	2,262
金融費用	58	632
税引前中間利益	19,680	23,846
法人所得税費用	7,083	6,315
中間利益	12,597	17,531
中間利益の帰属		
親会社の所有者	12,597	17,531
1株当たり中間利益		
基本的1株当たり中間利益(円)	365.87	518.17
希薄化後1株当たり中間利益(円)	365.83	518.17

## (要約中間連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間利益	12,597	17,531
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する資本性金融商品	1,357	174
純損益に振り替えられることのない項目合計	1,357	174
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	11,645	△4,472
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する負債性金融商品	△14	△19
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	11,631	△4,491
税引後その他の包括利益合計	12,988	△4,317
中間包括利益合計	25,585	13,214
中間包括利益合計額の帰属		
親会社の所有者	25,585	13,214

## (3) 要約中間連結持分変動計算書

(単位:百万円)

	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	資本合計
2023年4月1日残高	9,404	11,191	345,201	△39,840	23,897	349,853	349,853
中間利益			12,597			12,597	12,597
その他の包括利益					12,988	12,988	12,988
中間包括利益合計	—	—	12,597	—	12,988	25,585	25,585
剰余金の配当			△9,640			△9,640	△9,640
自己株式の取得		△0		△4		△4	△4
自己株式の処分		△6		69		63	63
自己株式の消却		△13,905		13,905		—	—
株式報酬取引		5		20		25	25
利益剰余金への振替		13,895	△13,895			—	—
所有者との取引額等合計	—	△11	△23,535	13,990	—	△9,556	△9,556
2023年9月30日時点の残高	9,404	11,180	334,264	△25,850	36,885	365,882	365,882

(単位:百万円)

	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	資本合計
2024年4月1日残高	9,404	11,183	340,806	△35,807	38,587	364,173	364,173
中間利益			17,531			17,531	17,531
その他の包括利益					△4,317	△4,317	△4,317
中間包括利益合計	—	—	17,531	—	△4,317	13,214	13,214
剰余金の配当			△7,443			△7,443	△7,443
自己株式の取得				△8		△8	△8
自己株式の処分		△10		63		53	53
自己株式の消却		△8,274		8,274		—	—
株式報酬取引		115		15		130	130
利益剰余金への振替		8,143	△8,143			—	—
所有者との取引額等合計	—	△26	△15,586	8,344	—	△7,268	△7,268
2024年9月30日時点の残高	9,404	11,157	342,751	△27,463	34,270	370,119	370,119

(4) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

当社グループは、主にコネクタ等を生産・販売しており、取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループはコネクタの形状を基礎とした製品別セグメントから構成されており、「多極コネクタ」及び「同軸コネクタ」の2つを報告セグメントとしております。

「多極コネクタ」は、主として機器の外部に実装する丸形コネクタ及び角形コネクタと機器の内部に実装するリボンケーブル用コネクタ、プリント基板用コネクタ、FPC(フレキシブル基板)用コネクタ、ナイロンコネクタがあります。

「同軸コネクタ」は、マイクロ波のような高周波信号を接続する特殊な高性能コネクタであり、ここには光コネクタも含んでおります。

(2) 報告セグメント情報

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した方法と概ね同一であります。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	要約中間 連結財務諸表 計上額
	多極コネクタ	同軸コネクタ	計		
売上収益					
外部顧客への売上収益	74,245	5,827	80,072	2,838	82,910
収益合計	74,245	5,827	80,072	2,838	82,910
営業利益	15,240	1,538	16,778	413	17,191
金融収益	—	—	—	—	2,547
金融費用	—	—	—	—	58
税引前中間利益	—	—	—	—	19,680

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、マイクロスイッチ類及びコネクタ用治工具類等を一括しております。

地域に関する情報

	日本	中国	韓国	その他	合計
売上収益	18,288	27,608	13,587	23,427	82,910
連結売上収益に占める割合(%)	22.1	33.3	16.4	28.2	100.0

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	要約中間 連結財務諸表 計上額
	多極コネクタ	同軸コネクタ	計		
売上収益					
外部顧客への売上収益	85,585	6,325	91,910	2,609	94,519
収益合計	85,585	6,325	91,910	2,609	94,519
営業利益	20,686	1,411	22,097	119	22,216
金融収益	—	—	—	—	2,262
金融費用	—	—	—	—	632
税引前中間利益	—	—	—	—	23,846

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、マイクロスイッチ類及びコネクタ用治工具類等を一括しております。

## 地域に関する情報

	日本	中国	韓国	その他	合計
売上収益	14,497	38,401	16,694	24,927	94,519
連結売上収益に占める割合(%)	15.3	40.6	17.7	26.4	100.0

(重要な後発事象)

該当事項はありません。